

(別紙5)

整理番号 2022P-038
補助事業名 2022年度自転車安全利用等、人にやさしい健康で安全な社会づくりの推進、
交通マナーや正しい乗り方などを啓発する事業補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

①自転車普及啓発イベント

ア)自転車に関する企画催事 (2023 ハンドメイドバイシクル展報告書)

下記の企画催事を開催した。

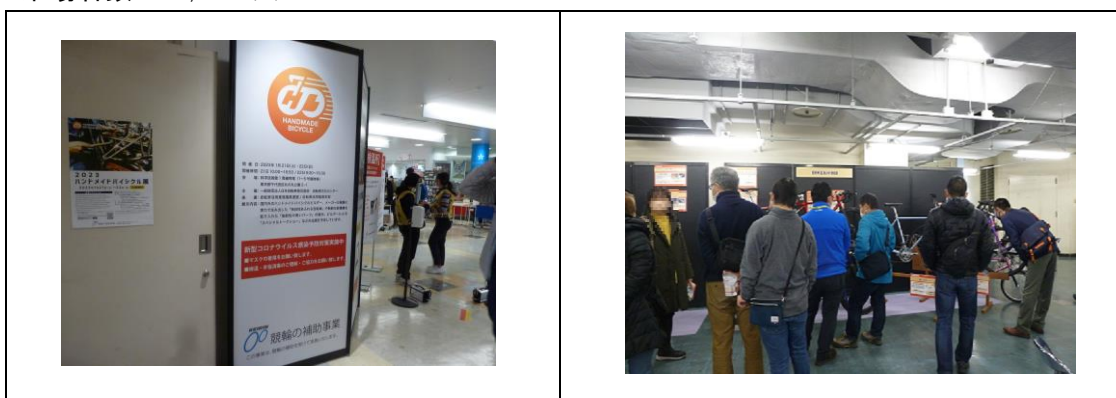
名称：『2023 ハンドメイドバイシクル展』

期間：2023年1月21日(土)～1月22日(日)

開催場所：科学技術館 1～5号催事場(東京都千代田区北の丸公園1-1)

内容：当展示会は国内における経験と実力を持ったハンドメイドビルダー、メーカーの実車・部品等を展示し、その高い技術と自転車に対する深い造詣、そうした匠の技を自転車愛好家だけでなく広く一般の方々にも分かりやすく紹介し、ハンドメイドバイシクルの魅力を発信することを目的としている。併催したトークショーの来場者は、コロナ禍であるため定員数を設け先着順に整理券を配布(無料)したと同時に、リアルタイムにてインターネット配信(有料)を行い来場することが出来ないファンにもトークショーを提供することができた。

来場者数：2,136人



会場の様子①

会場の様子②

イ)自転車に関するテーマ展示

自転車が日常生活の中で利用する(通勤・通学・買い物等)以外にも多様な面を持っている事を自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、解り易く

(別紙5)

来館者にその魅力を紹介するため、以下のテーマ展示を行った。

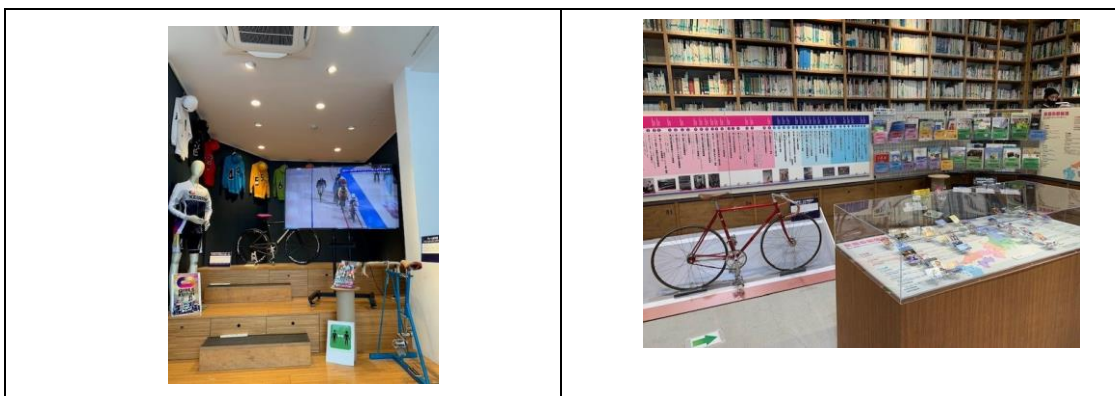
- ㊦ 第1回テーマ展示「自転車月間展」([自転車月間展報告書](#))
期間：2022年4月27日(水)～7月24日(日) 来館者数：434名
- ㊦ 第2回「自転車ふしぎ展～走る・曲がる・止まるの科学～」([自転車のふしぎ展報告書](#))
期間：2022年7月27日(水)～12月11日(日) 来館者数：793名
- ㊦ 第3回テーマ展示「THE KEIRIN」([THE KEIRIN 報告書](#))
期間：2022年12月14日(水)～2023年3月31日(日) 来館者数：453名



「自転車月間展」



「自転車ふしぎ展～走る・曲がる・止まるの科学～」








「THE KEIRIN」

(別紙5)

ウ) 自転車月間イベント (<http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2022/>)

「サイクルドリームフェスタ 2022」

㊦5月5日「サイクルドリームフェスタ 2022」ステージショーをYouTubeにてLIVE配信をした。

11時30分～自転車メンテナンス講座 	12時00分～ピーポ君の自転車安全教室 
12時30分～我々ワールドトークショー 	13時00分～自転車輪行実演ステージ 
13時30分～BMXパフォーマンスショー 	

㊧ 動画制作 2022年5月5日(祝・木)

「自転車月間(自転車の日/5月5日)」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、当日会場内にて動画撮影を行いました。自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ』とはどんなイベントなのか?、イベントを知らない方のために自転車インフルエンサーさんにご協力いただき紹介動画を制作する共に、イベント告知用にYouTubeで動画を配信した。



②自転車による地域活性化促進事業

全国統一自転車促進キャンペーン

[2022年度統一事業実施報告書pdf](#)

バイコロジー地域リーダー養成セミナー

[2022年度地域リーダー養成セミナー報告書pdf](#)

コロナ禍において、細心の注意を払いバイコロジー地方組織交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を実施した。

更に国土交通省・金籠道路局参事官（自転車活用推進本部事務局次長）に、「最近の自転車関連施策について/第2次自転車活用推進計画の策定」をテーマとしてセミナーを開催し、最新の自転車活用推進事例の情報提供・啓発に努めた。

<p style="text-align: center;">1</p>  <p style="text-align: center;">統一キャンペーン（千葉佐倉）</p>	<p style="text-align: center;">2</p>  <p style="text-align: center;">統一キャンペーン（葛飾）</p>	<p style="text-align: center;">3</p>  <p style="text-align: center;">統一キャンペーン（南さつま）</p>
<p style="text-align: center;">4</p>  <p style="text-align: center;">セミナー会場 看板</p>	<p style="text-align: center;">5</p>  <p style="text-align: center;">セミナー会場 講師：金籠氏（左側）/MC：村山（右側）</p>	<p style="text-align: center;">6</p>  <p style="text-align: center;">セミナー配信風景 撮影チーム（本会職員）</p>

2 予想される事業実施効果

①自転車普及啓発イベント事業

ア)企画催事

今回の出展作品は、木製の自転車が何台か出展されたが、木製自転車の先駆けのビルダーが公の場で展示されたのは、本ハンドメイドバイシクル展の出展が最初であった。その後、ユーロバイクなど世界を代表する展示会に出展し大きな注目を集めた。このようなハンドメイドならではの希少な作品が集まり、国内において唯一無二の存在価値のあるイベントのため、様々な方面からの興味を引き付けて来場者の増加を図ることで、直接的な目的でもある自転車産業の発展が期待される。

イ) テーマ展示

コロナ禍において様々な角度から注目を集めた“自転車”に、また違った視点からのテーマを設け、健康増進の一助や身近で便利な移動手段の利用だけではない魅力を紹介していく。街の中にはない、歴史的な自転車を随時展示することで、その歴史を感じられる小さな異空間を提供し、「いつでも歴史的な自転車を見ることの出来る施設」として更に認知を拡げる。

各テーマ展を展開していく上で、SNSも活用し、リピーターの来館者はもとより、新規来館者を誘致するきっかけとなるよう常に情報を発信しながらメディア等の露出機会にも積極的に応じ、当センターの存在をアピールすることで、自転車の魅力、文化の醸成を図る。

ウ) 自転車月間イベント

3年ぶりに自転車月間事業「サイクルドリームフェスタ 2023」をリアル開催で実施したことにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想される。来場者アンケートを取った結果、自転車は原則車道の左側通行を知っているという方が前回開催よりも多くなった。

「自転車の日」記念事業を通じて月間の周知・趣旨の浸透が図られることにより、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

体験型イベントの実施に加え、SNSを利用した広報やYouTubeによる動画配信も導入することで、会場に来られない遠方の方への周知も行い、継続して実施することで、本イベントの知名度も上昇し、一般来場者のみならず、国や地方自治体・警察等公的機関からもイベントへの関心が高まり出展協力が得られることで、自転車月間イベントの目的をより一層効果的に果たすことに繋がると期待できる。

今年から初企画として自転車インフルエンサーさんとコラボをして、動画にも出演いただいた。ご自身のチャンネルにも告知をアップしていただき、今まで本イベントを知らなかった方の視聴にも繋げることが出来、新たなファン獲得と波及効果の拡大が期待できる。

② 自転車による地域活性化促進事業

全国統一自転車促進キャンペーンを実施することで、自転車利用者に「正しい自転車利用の啓発」を行い自転車交通ルールの再認識をしてもらう。

自転車活用推進本部事務局次長を講師にお招きしたセミナーで得た知識を、各地域の自転車利用推進担当者や一般の方々に周知することを通じて、今後各自治体が推進する自転車活用推進計画の策定の一助となる事や、各地におけるサイクルツーリズムの推進に資することが期待できる。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

・ハンドメイドバイシクル展

		
<p>チラシ・ポスター Bicycle Club版下</p>	<p>Cycle Sports版下</p>	<p>会場案内(両面)</p>

・令和4年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業

(<http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2022/>)

		
<p>チラシ(表面)</p>	<p>チラシ(裏面)</p>	<p>報告書</p>

(別紙5)

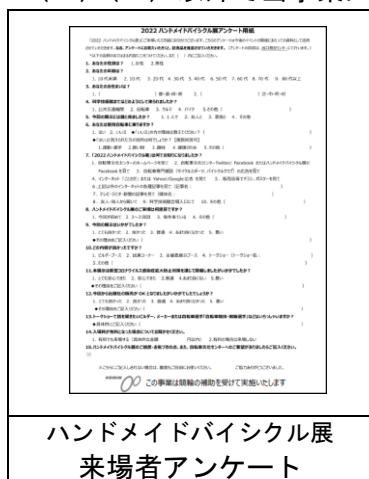
・自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット



パンフレット(表)

パンフレット(裏)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの



ハンドメイドバイク展
来場者アンケート

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会
(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)
住所： 〒141-0021
東京都品川区上大崎3丁目3番1号
代表者： 会長 小泉 昭男 (コイズミ アキオ)
担当部署： 事業課 (ジギョウカ)
担当者名： 課長 村山 吾郎 (ムラヤマ ゴロウ)
電話番号： 03-4334-7952
F A X： 03-4334-7957
E-mail： murayama@jifu.jp
U R L： <https://www.bpaj.or.jp>